

令和3年度事業報告について

令和3年度の我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、令和3年9月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除以降は、厳しい状況は徐々に緩和されてきている。しかし、原油価格の上昇は我が国経済を下押しし、ガソリン代・電力料金の値上げなどで個人消費が下振れしている。

そうした中、当協会は、令和3年度も下記のとおり定時社員総会1回、及び通常理事会2回を開催した。また、基幹的分野である業務、海務及び労務の3専門分野を中心とする委員会活動等は対面による開催中止を余儀なくされた。

船員採用問題等検討委員会、その広報ワーキング、図書ワーキングについては以下の通り開催し船員採用促進に向けた活動を行った。

1. 会務運営上開催した会議

(1) 定時社員総会

開催回数	1回	出席人数	7名
(第67回)			

(2) 通常理事会

開催回数	2回	出席人数	37名
合計	3回		44名

2. 事業運営上開催した会議等

(1) 業務専門委員会、海務専門委員会、労務専門委員会の各委員会は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み対面による開催はせず、書面による報告各2回を行った。機関誌編集委員会については議案書を各委員に配布し意見を聴取するにとどめた。

(2) 各委員会小委員会

船員採用問題等検討委員会

同 図書ワーキング	開催回数	1回	出席人数	9名
-----------	------	----	------	----

3. 事業実施概要

業務、海務及び労務の3専門委員会等を中心に、次のとおり事業活動を推進した。

(1) 専門委員会活動

①業務専門委員会

通常、委員会において報告している以下の資料を委員あて送付し、情報の共有を図った。

- 1) 港湾タグ事業にかかわる課題について
- 2) 曳船燃料油価格調査の集計について
- 3) 船員採用問題等検討委員会について

タグ事業の一般への広報活動の一環として、成山堂書店より「タグボートのしごと」を8月に出版し、会員及び船員養成機関等の関係先に送付した。

②海務専門委員会

通常、委員会において報告している以下の資料を委員あて送付し、情報の共有を図った。

- 1) ヒヤリハット事例について
- 2) タグ乗組員の教育研修について
今年度は全て取り止めとなったため関連資料はなし。
- 3) 港湾タグボート専用係留基地の確保と整備に関する要望について

③労務専門委員会

通常、委員会において報告している以下の資料を委員あて送付し、情報の共有を図った。

- 1) 令和2年度臨手調査表
- 2) 令和2年度労働協約改定主要項目一覧表
- 3) 令和3年度労働協約改定について

(2) 教育・訓練活動

①技術研修会は全て取り止めとした。

②海技大学校に委託している研修では、甲板部を対象に「タグシミュレータ研修」

1回、「タグBRM訓練研修」1回、及び機関部を対象に「電気研修(初級)」1回、「油圧回路研修」2回、「小型ディーゼル機関開放研修」1回を実施した。

参加者総数は、参加実績表のとおり、4社16名であった。

(3) 調査・報告活動

①各種調査

例年のとおり以下の調査を実施し、報告書にまとめ、関係専門委員及び会員に配布した。

「曳船燃料油価格調査」、「賃金調査」及び「臨時手当調査」

②「会員・所属タグ一覧表」の作成・発行

令和4年1月1日現在の会員について、組織概要並びに所属タグの現況調査を

実施し、同年1月に「会員・所属タグ一覧表」を作成・発行し、会員及び関係先に配布した。

③調査統計報告書の作成・発行

令和4年1月1日現在の会員の運航タグ及び船員関係調査等の集計に基づく、「会員所属タグ調査統計並びに全国港湾入港船舶数抽出値統計」の報告書を作成し、会員及び関係先に配布した。

④機関誌「ハーバータグ」等の発行

令和4年1月20日に第52号を発行し、会員及び関係先に配布した。また、令和3年7月、「タグ事業協会だより」をホームページに掲載した。

4. 会員数

令和3年4月1日における会員数

特別会員	10名	正会員	88名	計	98名
------	-----	-----	-----	---	-----

令和4年3月31日における会員数

特別会員	10名	正会員	88名	計	98名
------	-----	-----	-----	---	-----

5. 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので附属明細書は作成しない。

以上